

## 平成 27 年度西播磨西部（千種川流域圏）地域総合治水推進協議会 議事録

■日 時：平成 28 年 3 月 10 日（木）15:30～17:00

■場 所：西播磨県民局 大会議室

■出席者：別紙

■議 題：

- (1) 公開要領第 11 条 2 項に基づく議事録に関する委員の指名について
- (2) 推進計画に基づいた施策の進捗状況について
- (3) 総合治水にかかる事例紹介

■配付資料：

資料-1 推進計画に基づいた施策の進捗状況

資料-2 推進計画に基づいた施策の進捗状況（パワーポイント）

資料-3 総合治水にかかる主な取組みの紹介

- ①兵庫県赤穂市周世の田んぼダム洪水緩和機能に関する基礎的研究  
（神戸大学）
- ②田んぼダム効果検証
- ③赤穂市防災公園雨水貯留施設整備について

【参考資料】

参考-1 西播磨西部（千種川流域圏）地域総合治水推進協議会設置要綱

参考-2 西播磨西部（千種川流域圏）地域総合治水推進協議会公開要領

参考-3 西播磨西部（千種川流域圏）地域総合治水推進計画（概要版）

参考-4 平成 27 年度西播磨西部（千種川流域圏）地域総合治水推進協議会ワーキング  
議事概要

●開会

●あいさつ（西播磨県民局長）

●議事（進行は会長）

- (1) 公開要領第 11 条 2 項に基づく議事録に関する構成員の指名について  
（参考資料 2 を用いて小林会長が説明）  
たつの市総務部危機管理課課長に決定。

- (2) 推進計画に基づいた施策の進捗状況  
（資料 1, 2 を用いて事務局が説明）

会長

千種川の緊急河道対策が今年度で終わるということで、これによって住民の方は安全になったとされているのでしょうか。

佐用町委員

21 年災害から 6 年間にわたり、県土木による、上郡から佐用の 55 キロに及ぶ大事業が完成しますこと感謝しています。先程の進捗状況の中でも説明いただきましたが、平成 25 年 9 月の豪雨に対して安全も確認されました。地域住民の方にもこの度の改修を見て頂いて、安全だということ喜んでいただいています。河川改修だけでなく、治山ダム、砂防ダムに

ついても実施をしていただきました。また佐用町では荒廃溪流の整備を行っています。ハード面だけですべてが安全というわけではないので、ソフトの部分での対策として町民の方に防災学習会などの実施や研修など地域で取り組んでいただいています。それぞれの取組みを進めていただいたということで格段の安全確保ができたと思っています。

#### 会長

関係各位のご協力により安全確保ができてきたと思いますが、定期的に大きな雨が降っていますのでモニタリングを行い経過の確認を行って頂ければと思います。

#### (3) 総合治水にかかる主な取組みの紹介

- ①兵庫県赤穂市周世の田んぼダム洪水緩和機能に関する基礎的研究  
(会長が説明)

#### 県委員

せき板ですが、設置の向きは切り欠きが上向きですか、下向きですか。

#### 光都土地改良センター 所長補佐

切り欠きは下向きに設置するよう指導しています。下向きに設置しますと穴にごみなどつまりやすくなります。農家の方はそれを嫌って上向きにつけることがありますが、下向きの方が10センチ水が貯まります。上向きでは普段の水深が切り欠きの位置になるので、5センチしか貯められないため貯める容量が減ることになります。田んぼにより多くの水を貯めるため下向きで設置をお願いしていますが、農家さんの管理の都合上、上向きにつけているところもあります。

#### ②田んぼダム効果検証

(資料 3-1 を用いて光都土木土地改良センター所長補佐が説明)

#### 会長

2009年の豪雨を使用してハイドログラフを書いているが、流出モデルはどのように作ったのか。

#### 光都土地改良センター 所長補佐

今回の検証の中で流出係数を算出していますので、そのデータを用いて雨量データだけ2009年のものに入れ替えて計算しています。

#### 会長

水位を流量にどのように変えていますか。

#### 光都土地改良センター 所長補佐

水路の縦断と断面を利用して流量計算式により算出しています。

#### 県委員

せき板は、1枚いくらですか。

#### 光都土地改良センター 所長補佐

税込 432 円です。

## 会長

田んぼダムからの出水のピーク流量が20%から30%減るのは、当初思われてるものより良かったですか。

## 光都土地改良センター 所長補佐

新潟大学の研究論文では、25%から30%くらいのピークカットができるという結果になっています。兵庫県で実施した田んぼダムについても同様の値になりましたので、検証の方法としては間違っていなかったと考えています。

### ③赤穂市防災公園雨水貯留施設整備について

(資料3-2を用いて赤穂建設経済部都市整備課公園街路係係長が説明)

## 佐用町委員

治水とは関係ないんですが、災害時の飲料水の貯水について佐用町でも検討しているが、水を長期間貯水しておくため、管理が難しいところがあります。これは地震や断水時に、自動的に遮水され水が溜まりだす仕組みですか。

## 赤穂市 公園街路係長

普段は両サイドに水道管が接続されており、常時水が流れていますが、地震の際に振動によって両サイドの遮断弁が閉まりその中に貯まった水を、飲料水として使用する構造です。

## 佐用町委員

これは地震だけの専用のものでしょうか。

## 赤穂市 公園街路係長

そうです。

## 光都土木事務所 所長

防災公園において、表面貯留に取り組んでいただき非常にありがたく思います。ワークショップの際に、雨水貯留をすることに関して住民の方からなにか意見等ありましたか。

## 赤穂市 公園街路係長

雨水貯留については特に意見はなかったです。それよりもその公園のなかの施設整備についての要望などが多かったです。

## 光都土木事務所 所長

赤穂市は減災のモデル地区にもなっていますので、供用開始された際にはぜひPRをよろしくお願いします。

## 会長

遊具が多く設置される計画で子供の遊び場になっていいと思うのですが、ワークショップに子供は参加しているんですか？

## 赤穂市 公園街路班長

ワークショップに子供は参加していません。

## 県委員

金出地ダムについて、試験湛水を開始しましたが現在どれくらい溜まっていますか。

**光都土木事務所 所長**

おそらく 10 パーセントくらいです。

**県委員**

いつくらいにいっぱいになりますか。

**光都土木事務所 所長**

過去の 10 カ年の雨量で計算してシミュレーションしてますが、2 年以上かかる見込みです。

**会長**

CGハザードマップのスマホサイトですが、どれくらい使用されていますか。

**光都土木事務所 所長補佐**

使用状況のデータが手元にありませんので、また後日、ご報告させていただきます。

**会長**

各戸貯留に関してですが、効果としては微々たるものですか？

**光都土木事務所 所長**

都市部の市街化した場所などで発生する宅地の低い部分での浸水等の局所的な内水被害の対策としては効果がると考えている。また、住民の意識付けとしてのソフト的な効果もあります。

**会長**

2009 年の豪雨で都賀川流域の全戸が各戸貯留をした場合に、都賀川の水位がどの程度下がるかシミュレーションしたデータがありますので、今後県と連携していけたらと思っています。

**県民委員**

田んぼダムについてですが、実際のせき板を上げたり下げたりすることを人の手でしなければいけません。以前は兼業農家がそれぞれで 5 反 6 反作っていましたが、今では一人で 20 町 30 町作ってるというのが現状です。簡単に言いますと 50 人が管理していた面積を 1 人が管理しているということです。そうするとせき板を上げ下げするのを 1 人でしなくてはいけません。実際、緊急にせき板の上げ下げをすることになると現実的にはできないと思います。

それとため池の堤防を管理するのは、個人ではなくて集落などで管理します。田んぼの畦畔は個人で管理しなければならず、手が回らないので田んぼの畦畔に火をつけて除草しています。その結果、土がぼこぼこになり雨で全部流れてしまいます。今は手をかけないで農作物を育てるといって、粗放的農業が主流になっています。学問のことを実際やろうとすると、どういう管理をするのかという問題がでてきます。今後の田んぼの管理形態をどうしていくかを考えることが大事だと思います。

**会長**

学問(自然科学)は、最近では多少変わってきてはいますが、基本的には人の苦勞をあまり考慮せず、客観的にみるというところがありますので、そういうことをこの場で話し合って齟齬を埋めていくことが大切だと思います。

#### 光都農林振興事務所 所長

現場で管理していく中で実際にでてくる課題として行政側で認識しています。特に上郡町内についてはたくさんの農家から田んぼを預かって一人で農作業・管理を行っている方がいます。そのため日常的な管理などが十分にできていないという課題であります。


解決策としては、1人に任せるということはせず、組織化など村全体で話し合いを行い管理していく必要があります。国では、ソフト的な活動を組織的に取組む際に資金の手当てを行う多面的機能交付金という制度があり、国県市町一緒に推進しておりますので、この制度を活用しながら推進をしていきたいと思っております。

- 今後の予定
- あいさつ（光都土木事務所 所長）
- 閉会

平成27年度 西播磨西部(千種川流域圏)地域総合治水推進協議会 出席者名簿

所 属		職 氏 名		出席 確認
学識経験者	神戸大学	准教授	小林 健一郎	
兵庫県	西播磨県民局	局長	片山 安孝	
市町	相生市	防災監	橋本 昌司 (代理出席)	
	たつの市 危機管理課	課長	畠井 俊則 (代理出席)	
	赤穂市	危機管理監	福本 雅夫 (代理出席)	
	宍粟市 まちづくり推進部	次長	清水 忠二 (代理出席)	
	上郡町	町長	遠山 寛	
	佐用町	町長	庵谷 典章	
県民委員	相生市	相生市連合自治会会長	山田 勝利	
	たつの市	西栗栖地区角亀自治会会長	岸 實	
	赤穂市	赤穂市自治会連合会会長	木村 音彦	
	上郡町	上郡町連合自治会会長	塚本 義勝	
	佐用町	佐用町連合自治会連合会副会長	加藤 隆久	

議事録確定署名人

会長: 小林健一郎 

委員: 畠井俊則 